

観覧無料 劇団コープス Corpus

後援＝在日カナダ大使館



「ひつじ」

Les moutons

5日[木・祝]・6日[金] 14:45～15:15

ロワー広場 (上演時間 約30分)

人間がひつじに扮し、羊飼いに追われたり、ひつじ同士がじゃれあったりと都会の中心でメエメエと愛らしいひつじたちが戯れる。劇団コープスが鋭く観察したひつじの特性を通じて、都会の中心で面白くて不思議な田舎のひつじ牧場を再現。みんなに大人気の「ひつじ」が今年も東京芸術劇場にやってきます！



photo: Stanislaw Tom

「キャンプしましょう！ おひめさま」

Camping Royal

7日[土]・8日[日] 14:45～15:25

ロワー広場 (上演時間 約40分)

宮殿から飛び出した二人のおひめさまたちがやってきたのは、何とキャンプ！ テントのドレスを身にまとったおひめさまたちは芝生の上の舞踏会で華麗に踊ります。豪華な宮殿ではなく、質素なキャンプ生活に戸惑うおひめさまたちに注目。東京芸術劇場に初めて登場することもから大人まで楽しめるコメディをお楽しみください。



photo: Geoff Bouckley

Schedule

シアターイースト シアターウエスト ロワー広場

5月	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00	17:30	18:00	18:30	19:00
5日[木・祝]							空飛ぶ男たち	ひつじ			ストイック					Linea	
6日[金]		ストイック★					空飛ぶ男たち	ひつじ			Linea						
7日[土]		Linea★					空飛ぶ男たち	キャンプしましょう！ おひめさま			ストイック						
8日[日]		Linea★					空飛ぶ男たち	キャンプしましょう！ おひめさま			ストイック						

★公演終了後に、ご入場いただいたお客様にご参加いただける、出演者によるワークショップを舞台上にて実施いたします。(20分程度予定)

Ticket

※4歳以上のお子様のご鑑賞をおすすめします。

チケット料金(全席指定・税込)	1演目券	2演目セット券	3演目セット券	劇団コープス「ひつじ」、 「キャンプしましょう！ おひめさま」 観覧無料
大人 Adult	¥2,000	¥3,500	¥4,800	前売 開始 3.5 [土]
子ども(高校生以下) Child (Under high school students)	¥1,000	¥1,500	¥1,800	

東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296 (休館日を除く10:00～19:00)

http://www.geigeki.jp/t/(PC) http://www.geigeki.jp/i/t/(携帯)

チケットぴあ……http://pia.jp/t/(PC・携帯) 0570-02-9999(24時間・音声自動応答)

[Pコード: 空飛ぶ男たち 449-125 / ストイック 449-137 / Linea 449-139]

ローソンチケット……http://l-tike.com/ 0570-000-407(オペレーター) 0570-084-003(音声自動応答)

[Lコード: 空飛ぶ男たち 31530 / ストイック 31531 / Linea 31532]

イープラス……http://eplus.jp/(PC・携帯) ※セット券の取扱いはございません。

※ぴあ・ローソンで取扱うセット券は、同日開催公演に限りです。※公演情報等につきましては、変更が生じる場合がございますので、ご了承ください。

※障害をお持ちの方は割引料金にてご観覧いただけます。詳しくは、劇場ボックスオフィスまで。

◎お問合せ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296 (休館日を除く10:00～19:00)

木づかいの国とっとり「木育広場」

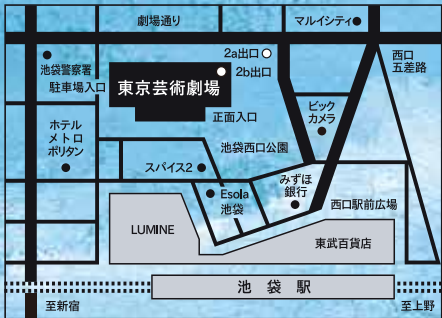


入場
無料

TACTフェスティバルの期間中、とっとり時間を体感できる「木育広場」が芸術にやってきます！ぜひ、とっりの良さ・あたたかさを感じてください。あなたも今日からウッドスタート！

会場: アトリエウエスト

※利用時間は芸術HPにてご確認ください。



東京芸術劇場

Tokyo Metropolitan Theatre

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1

Tel. 03-5391-2111

JR・東京メトロ・東武東上線・西武池袋線 池袋駅西口より徒歩2分。池袋駅地下通路2b出口で直結しています。

design: Kazuki Akizawa

東京芸術劇場

Tokyo Metropolitan Theatre

カンパニー・レ・ギューム

「ストイック」

photo: Virginie Chometon

劇団コープス

「ひつじ」

photo: Gary Mulcahey

劇団コープス

「キャンプしましょう！

おひめさま」

photo: Isoline Marc

主催＝東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

東京都／アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)

後援＝豊島区



ARTS COUNCIL TOKYO

楽しくってマジカルな、
カラダの魔法があふれだす！

ソラス・デ・ヴェント

「空飛ぶ男たち」

photo: Marciane Chama



カンパニー・ドウツシュドゥックスウ

リニア

「Linea

— ダンシングロープ!」

photo: Act Eos

tiActi FESTIVAL 2016

2016年(平成28年) 5月5日[木・祝] — 8日[日]

東京芸術劇場

ソラス・デ・ヴェント 「空飛ぶ男たち」

Solas de Vento:
Men with Soles of Wind

5日[木・祝] 13:30～14:40

6日[金] 13:30～14:40

7日[土] 13:30～14:40

8日[日] 13:30～14:40

シアターイースト (上演時間 約70分)



作・出演：ブルーノ・ルドルフ、リカルド・ロドリゲス
演出：ロドリゴ・ルハン

これは現代のおとぎ話かもしれない。

空港の入国審査で止められてしまったブラジル人とフランス人の男性二人。交渉に手を尽くすが埒が明かず、スーツケースを抱えたまま空港に寝泊まりすることになる。イライラをつのらせる二人は、互いに八つ当たりして険悪なムードが漂う。そしてハンモックやらロープを駆使して作る彼らの居場所は、彼らの状況同様「宙ぶらりん」な状態で話が進んでいくのだ。

ここで彼らの「空中でのパフォーマンス技」は、ひけらかすためではなく、物語を推し進めるために使われるのがニクい。しかも不本意なはずの滞在場所が、どんどん居心地よくなってしまふ。次第に打ち解け合う二人には、さらなる展開が待っている……楽しくも深い心の交流を描いた作品だ。

駐日ブラジル大使館
[<0>][o]
EMBAIXADA DO BRASIL EM TOQUIO

後援＝駐日ブラジル大使館



photo: Mariana Chama

カンパニー・レ・ギューム 「ストイック」

Cie Les Gums: Stoik

5日[木・祝] 16:00～16:50

6日[金] 11:00～11:50*

7日[土] 16:00～16:50

8日[日] 16:00～16:50

シアターウエスト (上演時間 約50分)

★公演終了後にワークショップ実施

photo: Dominique Hogard

作・出演：ブライアン・エニノ、クレマン・ルージーア

これはもう、見た目からオカシイ。神経質そうな大男と、やたらと動きのヘンテコな小さい女……その身長差たるや、男の脇の下を女が普通に歩いてしまうほどだ。

舞台上には鞆や机、椅子といった日用品があるのだが、これまたちょっとおかしい使われ方をする。二人のマジメでコミカルなやりとりが続くものの、重要なのは、あくまでも身体性である。卓球もやるし棒の上でバランスも取るし、歌だって歌ってしまふ。

だが絶えず心のどこかで相方のことを気にしているのだ。そう。ドタバタに見えるすべてのことは、相手を理解するためのレッスンなのである。でかい男も、小さい女も、ぶっさらぼうだが愛らしい。互いに信頼し合う、その関係性が見る者の胸をほっこりさせるのである。

後援＝在日フランス大使館／
アンスティチュ・フランセ日本



photo: Jean-Claude Bernier



photo: Dominique Hogard



photo: Virginie Chometon



photo: ClaudineJulien

カンパニー・ドウツシュドウツスウ リネア 「Linea——ダンシングロープ!」

Cie Sens Dessus Dessous: Linéa

5日[木・祝] 18:00～18:50

6日[金] 16:00～16:50

7日[土] 11:00～11:50*

8日[日] 11:00～11:50*

シアターウエスト (上演時間 約50分)

★公演終了後にワークショップ実施



作・パフォーマンス：キム・ヒュン、ジャイブ・ファウリイ

登場するのは男女二人とロープのみ。これはタイトルの通り「踊るロープ」であると同時に、「ロープと踊る」作品でもある。

子どもの頃、縄跳びでもロープでも「床に置いてクルリと勢よく円を作ると、スーッと円のまま走るように移動していく遊び」をしたことはないだろうか。それはエネルギーがそのままロープに伝わって形になる……つまり「見えないはずのエネルギーが、目に見えるよう変換された形そのもの」なのである。だからワクワクする。しかもこれをプロのアーティストが扱うと、ただのロープが、次々に見たこともないような姿へ変身していく。さらには手品の要素も加わって、ちょっとしたイリュージョンが展開される。想像力と創造力が、一本のロープに無限の生命を与える舞台である。

後援＝在日フランス大使館／
アンスティチュ・フランセ日本



photo: Act Eos

